

遅れ破壊部会

第35回部会 開催日：3月20日、出席者：藤田部会長
ほか 13 名。

主要議題

1. 研究発表

- 1) 鉄単結晶の降伏および歪硬化挙動におよぼすHの効果(続)

発表者：鉄道技研 松山晋作

- 2) 鉄鋼材料の水素脆化破面

発表者：住友金属 中里福和

- 3) 鉄鋼材料のおくれ破壊現象-表面現象として理解されるZの機構

発表者：大阪大学 藤田英一

2. 部会報告書について

6月末目標に、各委員が自分の研究結果を1人刷り上り10頁程度を標準として執筆する。

3. シンポジウムについて

11月頃、部会を終了するに当たり、シンポジウムを開催し、成果を世に問う。テキストとしては、部会報告書を使用予定。

固体質量分析部会

第19回部会 開催日：2月28日、出席者：須藤部会長
ほか 16 名。

1. 開催場所 日本鉄鋼協会会議室

2. 議事内容

- (1) 検出限界の定義についての討論が、行なわれた。

- (2) 精度・正確さについて検討した。

- (3) 写真乾板の均一性に関して、乳剤の偏析の実験報告などがあつた。

- (4) 電気検出法による精度については、連続繰り返し精度は比較的良好であるが、日内精度・日間精度にはやや大きめのバラツキありとの報告があつた。

- (5) 新日鉄で開発した固体質量の自動解析法についての概要が報告された。

- (6) オートスパーク装置(東大)によるデータを次回部会までに提出することになった。

茅コンフェレンスのお知らせ

例年のように下記の要領で茅コンフェレンスを開催します。今回の主題は「アモルファス物質の物性とその応用」で、最近話題のアモルファス物質について、ガラス、半導体、金属と広い範囲にわたる総括的な興味ある研究の紹介と討論を展開したいと思つています。奮つて御参加ください。

日 時 昭和 50 年 8 月 28 日 夕刻～8 月 31 日 正午

場 所 和歌山県高野山 西室院

参 加 費 公社会社関係 20,000円、大学関係 6,000円 宿 泊 費 1 日 (3 食付) 4,000円/人から

申込締切 6 月 30 日 (サーキュラー請求先) 560 豊中市待兼山町 阪大基礎工物性 藤田英一・田崎 明

プログラム 8 月 28 日 (木) [半導体] 18～21 時

- ・アルモファス半導体の電気・光学的性質

阪大基礎工 浜川 圭弘

- ・アモルファス半導体の興味ある現象と応用素子

ソニー中研 菊池 誠

8 月 29 日 (金) [ポリマー・ガラス] 9～12 時

- ・ガラスの結晶化

京大化研 田代 仁

- ・オプティカルファイバー

日本板硝子 小泉 健

[エクスカーション] 13～17 時 [特別セッション] 18～21 時

- ・題 未 定

茅 誠司先生

- ・特別講演

交渉中

ビアパーティー 20 時から約 1 時間

8 月 30 日 (土) [金属] 9～12 時

- ・強靱非晶質合金の特性

東北大金研 増本 健

- ・超ステンレス非晶質合金の特性

東北大金研 橋本 功二

[構 造] 18～21 時

- ・金属の非晶質構造の理論

東北大工 田中 実

- ・液体と非晶質構造との差は何か?

東北大金研 鈴木 謙爾

- ・パネルディスカッション

8 月 31 日 (日) [磁性]

- ・非晶質金属磁性体の磁化過程と磁区構造

東北大金研 藤森 啓安

- ・希土類鉄磁性体の磁性

学習院大理 宮嶋 英紀

- ・アモルファス磁性体とバルブルドメイン

阪大基礎工 桜井 良文